

安全性データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|---------|----------------------------|
| 製品名 | : QBlot kit |
| 製品コード | : WSE-4055 |
| 会社名 | : アトー株式会社 |
| 住所 | : 111-0041 東京都台東区元浅草 3-2-2 |
| 電話番号 | : 03-5827-4861 |
| ファックス番号 | : 03-5827-6647 |
| 緊急連絡先 | : 03-5827-4871 |

2. 危険有害性の要約

| | |
|-----------|-------------------|
| GHS 分類 | : GHS 分類基準に該当しない。 |
| GHS ラベル要素 | : なし |
| 危険有害性情報 | : なし |
| 注意書き | : なし |

3. 組成、成分情報

単一製品、混合物の区分 : 混合物

| 成分 | 含有量(%) | 化学式 | 官報公示整理番号 (化審法・安衛法) | CAS No. |
|-------------------------------|--------|--------------|-----------------------|---------|
| 2-アミノ-2-ヒドロキシメチル-1,3-プロパンジオール | 50%以下 | H2NC(CH2OH)3 | 2-318 | 77-86-1 |

4. 応急措置

| | |
|-----------|--|
| 吸入した場合 | : 新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。 |
| 目に入った場合 | : 目に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。 |

飲み込んだ場合 : 口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護 : 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水スプレー(水噴霧), 二酸化炭素(CO₂), 泡, 粉末消火剤, 砂

使ってはならない消火剤 : 情報なし

特有の消火方法 : 情報なし

火災時の特有危険有害性: 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

消火を行う者の保護 : 個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏洩した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された廃液が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

回収・中和 : ウェス、減圧等の方法で吸収させて空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。作業の際には必ず保護具を着用する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 強酸化剤との接触を避ける。

人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。取り扱った後は石鹼などを用いてよく洗う。

- 注意事項** : 容器を転倒させ落下させ衝撃を与えまたは引きずる等の乱暴な扱いをしない。
 漏れ、溢れ、飛散しないようにし、みだりに蒸気やミストを発生させない。
 使用後は容器を密封する。
 取り扱い後は手、顔、等をよく洗い、うがいを励行する。
 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
 休憩所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。
- 安全取扱い注意事項** : 吸い込んだり、目、皮膚、および衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
 屋内作業場における取り扱い場所では局所排気装置を使用する。

保管

- 適切な保管条件 : 2~8°Cで水平に保管。
 安全な容器包装材料 : ポリプロピレン

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策** : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所的排気装置を設置する。
 取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

管理濃度、作業環境評価基準

: 設定されていない

許容濃度

- ACGIH TLV(s) : 設定されていない
 日本産業衛生学会 : 設定されていない
 生物学的暴露指標 : 設定されていない

保護具

- 呼吸器の保護具 : 保護マスク
 手の保護具 : 保護手袋
 目の保護具 : 保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 保護長靴、保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

| | |
|----|--------|
| 形状 | : 液体 |
| 色 | : 無色透明 |
| 臭い | : なし |
| pH | : 9-10 |

物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲

| | |
|--------------|---------|
| 沸点 | : データなし |
| 沸騰範囲 | : データなし |
| 融点 | : データなし |
| 引火点 | : データなし |
| 発火点 | : データなし |
| 爆発特性 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 密度 | : データなし |
| 溶解性 | : データなし |
| オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| その他データ | : なし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--|
| 安定性 | : 推奨保管条件下で安定。 |
| 反応性 | : 情報なし |
| 危険有害反応可能性 | : 通常の処理ではなし。 |
| 避けるべき条件 | : 高温と直射日光 |
| 混触危険物質 | : 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | : 一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO ₂), 窒素酸化物 (NO _x) |

11. 有害性情報

| | |
|-------------------|--------|
| 急性毒性 | : 情報なし |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : 情報なし |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | : 情報なし |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | : 情報なし |
| 生殖細胞変異原性 | : 情報なし |
| 発がん性 | : 情報なし |
| 生殖毒性 | : 情報なし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 情報なし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 情報なし |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 情報なし |

12. 環境影響情報

| | |
|---------|---------|
| 移動性 | : データなし |
| 残留性/分解性 | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 生態毒性 | : データなし |

13. 廃棄上注意

| | |
|---------|--------------------------------|
| 残余廃棄物 | : 都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託する。 |
| 汚染容器・包装 | : 多量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。 |

14. 輸送上の注意

| | |
|----------------|--|
| ADR/RID(陸上) | : 規制されていない |
| IMDG(海上) | : 規制されていない |
| IATA(航空) | : 規制されていない |
| 国際規制 | : なし |
| 国内規制 | : なし |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 |

15. 適応法令

| | |
|-----------|--------|
| 化学物質管理促進法 | : 非該当 |
| 労働安全衛生法 | : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 化審法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 非該当 |
| 航空法 | : 非該当 |
| 水質汚濁防止法 | : 非該当 |
| その他法律 | : 特になし |

16. その他

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の見取りを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施してください。

また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。